



2023年5月10日

各位

会社名: 富士石油株式会社
代表者名: 取締役社長 山本 重人
(コード番号: 5017 東証プライム市場)
問合せ先: 総務部 IR・広報グループ 鈴木 龍司
TEL: (03) 5462-7803
URL: <https://www.foc.co.jp/>

2023年3月期通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2023年2月10日に公表の2023年3月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2023年2月10日発表)	867,100	7,200	6,600	5,400	69.98
今回発表実績(B)	850,863	5,028	4,704	3,575	46.36
増減額(B-A)	△16,236	△2,171	△1,895	△1,824	
増減率 (%)	△1.9	△30.2	△28.7	△33.8	
(ご参考) 前期実績※ (2022年3月期)	486,014	16,251	16,076	15,203	197.29

※2023年3月期より燃料油価格激変緩和補助金による収入を売上高に計上していることから、2022年3月期の財務諸表についても当該補助金収入を売上高に計上する組み替えを行っております(従来は営業外収益に計上)。このため、2022年3月期の売上高及び営業利益の数値が、既に開示済の資料と異なっております。

2. 差異の理由

前回の予想は、第4四半期平均でドバイ原油価格を80ドル/バレル、為替レートを130円/ドルの前提で策定いたしましたが、同期間のそれぞれの実績は、80.2ドル/バレル、132.4円/ドルとなりました。

売上高は、前回業績予想において既に織り込んでいた生産数量の一時的な減少による影響が想定よりも拡大したこと等により、販売数量が減少し、前回予想を162億円下回りました。また損益については、原油価格が期末にかけて下落基調となったことから在庫影響(総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響)が6億円の原価押し下げ要因(前回予想は41億円の原価押し下げ要因)と前回予想比で縮小したこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回予想を下回る結果となりました。

以上